

## 第20号の刊行にあたって

本誌「鳴門教育大学授業実践研究 ―授業改善をめざして―」も記念の第20号の刊行となりました。そんな記念の本誌の投稿募集を行いました令和2年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍での授業実践となり、4月当初から全ての授業がオンライン授業となりました。対面授業が始まりました6月からは感染防止のため三密とならないようにとの開講の難しさは、また授業時間数の確保は困難を極めました。そんな中、第19号を上回る19編の投稿をいただきました。心より感謝申し上げます。内容としては学部での授業実践3編、大学院9編、その他7編というものです。もちろんその中には複数編のオンライン授業の実践例の考察、提言もあり、この分野の研究も今後の実践研究の大きな柱となっていくものと思います。こうした研究も含めた授業改善が本学のような教員養成系大学の使命と強く確信し、今後一層、議論が高まることを期待します。

最後になりましたがご協力いただき、また研究の場ともなっていました諸学校、組織などの関係者の皆様方、本誌の刊行にあたり多忙な業務の中、論文の確認作業にあたっていただきました編集専門部会委員、ならびに事務処理を円滑に行っていただきました事務局の皆様にも深く感謝申し上げます。

令和3年3月

「鳴門教育大学授業実践研究」誌編集専門部会

主査 鈴木 久 人